



▲警視庁キャラクター「ストップボ君」

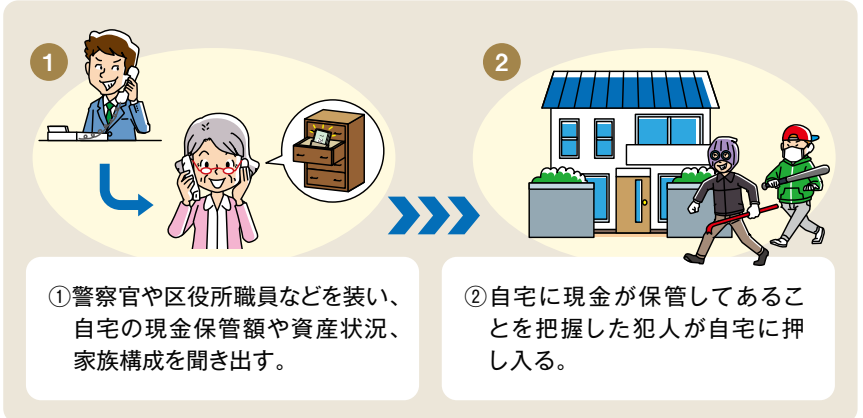
# オレオレ詐欺だけではありません 「アポ電強盗」に注意しましょう

## アポ電強盗とは？

ここで使われる「アポ電(アポイントメント電話)」とは、詐欺犯人が、お金などをだまし取るため事前に被害者に掛けてくる電話のことです。息子などの親族のほか、警察官や区職員、百貨店店員、家電量販店店員など、あらゆる肩書を装い、だまし文句を並べてきます。特殊詐欺の多くが、このアポ電から始まっています。最近では「アポ電強盗」が増加しています。資産額や家族構成を聞き出す「アポ電」を入れ、その後自宅などに押し入るといったものです。

### 特殊詐欺の被害件数・被害額(元年)

東京都	渋谷区
被害件数 > 3,815件	被害件数 > 111件
被害額 > 約76億円	被害額 > 約2.1億円



## アポ電の例

「〇〇区役所の者ですが、還付金があるため手続きをしたいので、取引銀行と口座番号をお知らせください。また、還付対象者になるかどうかの確認をしたいのですが、口座残高は50万円以上ありますか？」

資産額を聞き出すアポ電です

「〇〇消防署の者ですが、災害時にすぐに救助できるように、1人暮らしかどうかの確認をとっています。お電話口様は1人暮らしでしょうか？」

家族構成を聞き出すアポ電です

「もしもしオレだけど、果物をたくさんもらったから送っておいたよ。明日そっちに届くけど、受け取れる？」

在宅時間を聞き出すアポ電です

## 新型コロナウイルスを悪用した例も

厚生労働省職員を装い「費用を肩代わりするので検査を受けるように」と言われたり、「個人情報聞き出すとされた」という相談が増えています。



## アポ電強盗に遭わないために、4つのルールを守りましょう

- 電話に出ない。在宅中も留守番電話に設定する。留守番電話を確認して、連絡先を知っている場合は自分が記録している番号から掛け直す。
- 誰からの電話であっても、自宅の現金保管額など個人情報を話さない。警察官や区職員が尋ねることは絶対にありません。
- 自宅に現金を置かない(自宅金庫を含む)。
- 来訪者はドアスコープ(覗き穴)やインターホンのモニターで確認し、知人以外はドアを開けない。

万が一、電話で自宅の現金保管額を話してしまったら、すぐに110番通報してください

## 事前に対策しましょう

### ●事前の準備で備える

- 自宅の電話を留守電に設定する。
- 区内の警察署で自動通話録音機(防犯対策電話録音機)を借りて設置する(貸出無料)。
- 防犯カメラを取り付ける(防犯カメラ作動中のステッカーを貼るなども抑止力になります)。
- ATMの引き出しや振り込みの限度額を下げておく。



▲自動通話録音機

### ●家族で備える

- 家族で電話するときの合言葉や約束を決めておく。
- 実際に電話が掛かってきたときのために、自分の子どもや孫にしか分からないような質問を3つ、家族で決めておく。
- 家族の記念日、家族の思い出に残っている場所、初めての家族旅行の場所など。
- ※誕生日など調べてしまうものは避ける。



### ●手口を知って備える

- 区役所本庁舎8階安全対策課でリーフレットを配布しています。
- 警視庁「犯罪抑止対策本部」ページで学ぶ。アポ電を体験できる動画もあります。



▲警視庁ページ

◎分からないことや相談したいことがあれば、警察署に問い合わせてください。

- 渋谷警察署 ☎ 3498-0110
- 原宿警察署 ☎ 3408-0110
- 代々木警察署 ☎ 3375-0110

☎安全対策課安全対策主査(☎3463-1598 ☎5458-4916)